

令和6年度
「町民と議員との懇談会」

【実施報告書】

令和7年2月

～分かりやすく町民が参加する議会～

福島町議会

令和6年度「町民と議員との懇談会」

1 「町民と議員との懇談会」説明資料について

令和7年2月1日発行 議会だより第145号

2 班体制について

班編成	議 員（◎は班長）	事務局
A班	◎ 平沼 昌平、木村 隆・熊野 茂夫	鍋谷 浩行
B班	◎ 藤山 大、小鹿 昭義、平野 隆雄	山下 貴義
C班	◎ 佐藤 孝男、杉村 志朗、溝部 幸基	角谷 里紗、熊谷 治子

※2月7日の班体制

緑 町 ◎ 藤山 大、小鹿昭義、平野 隆雄、木村 隆、熊野 茂夫

新栄町 ◎ 佐藤 孝男、杉村 志朗、溝部 幸基、平沼 昌平

日 時	町内会	会 場	担当議員
2/3（月） 午後6時～	松浦、吉野	松浦・吉野町内会館	A
	吉田町、館古	役場（機能回復室）	B
	豊浜、宮歌	宮歌・豊浜町内会館	C
2/4（火） 午後6時～	吉岡1・2、吉岡3	吉岡総合センター	A
	白符	白符町内会館	B
	上町、本町、川原町	役場（機能回復室）	C
2/5（水） 午後6時～	日向1、日向2、日向3	日向町内会館	A
	館崎1、館崎2・3	吉岡総合センター	B
	月崎1	月崎1町内会館	C
2/6（木） 午後6時～	月崎2	月崎2町内会館	A
	丸山団地	丸山コミュニティセンター	B
	塩釜、浦和、岩部	塩釜町内会館	C
2/7（金） 午後6時～	緑町	福祉センター	A・B
	新栄町	新栄町集会所	A・C
2/10（月） 午後6時～	三岳1	三岳1町内会館	A
	三岳2	三岳2町内会館	B
	千軒	千軒活性化センター	C

1. 参加状況等

今年度の懇談会は、2月3日（月）から2月10日（月）までの6日間開催され、17会場で延べ77人（男59人、女18人）が出席しました。出席者数の最多は9人、最少は1人、平均4.5人という参加状況となりました。

参加者数は前年度比22名の減、参加者数1～2名の会場が5か所など、全体的に減少傾向にあり、開催期間中に大雪が重なったことから、参加を見合わせた住民もいたと考えられます。

2. 開催概要

議会では、議会基本条例第7条第8項の規定に基づき、町民への説明責任を果たし、情報を共有するため「町民と議員との懇談会」を開催しております。

「町民と議員との懇談会」は、全町内会（17会場）を対象に、議員が3班に分かれ開催しており、平成24年度から今回で13回目の開催となりました。

今回の懇談会は、説明資料として「議会だより第145号」と議会だよりの「議員のなり手不足」特集ページをまとめたものを用い、定例会、常任委員会で審議した内容のほか、多岐にわたる分野で意見交換を実施し、参加した町民と情報共有を図ることができました。

3. 意見等の総括

各会場での意見を分類し、その件数と総括を、次のとおり整理しました。

全体 17会場（259件）

今回の懇談会では、「議員のなり手不足や議会改革」について、町民の皆様から直接ご意見を伺うことも課題として開催し、多くの貴重なご意見をいただく事ができました。

「高校存続」「人口減少」「町内会運営」「防災対策」など、多岐にわたる意見も寄せられました。これらの課題は、町の将来に関わる重要なものであり、引き続き議論を重ねていく必要がありますので、町民の声を活かし、一般質問や予算審議、所管事務調査などを通じて具体的な政策提言へとつなげてまいります。

一方で、懇談会の参加者数は昨年と比べ減少しており、今後の改善策として、「開催時期や参加しやすい環境づくり」等参加してもらうための工夫を求める意見が多く寄せられましたので、検討が必要と考えております。

「町民と議員との懇談会」は、町民と直接意見を交わす貴重な場として、今後も継続していくことが重要であり、町民の率直な声を受け、今後の議会のあり方につ

いても議論を深めていく必要性を再認識しました。

町民と議会がともにまちづくりを進めるために、今後も対話の機会を大切にし、より多くの町民が参加しやすい環境づくりを検討しながら、議会としての役割を果たしてまいります。

議会 16会場（107件）

議員のなり手不足、議会改革、議員定数の適正規模、議員歳費など、議会の在り方に関する意見が多数寄せられました。

特に、議員のなり手不足については、「漁師や農家などの一次産業従事者が議員を務めるのは難しい」「自営業者でないと議員活動との両立が厳しい」「報酬の問題ではなく、仕事が忙しくてできない」といった意見や「若い人や女性議員がいないのはなぜか」との声もあり、クォーター制の導入など、多様な人材が議会に参加できる仕組みの必要性が指摘され、議会として、モニター制度の導入や、町民に議会活動をより身近に感じてもらうための取り組みを検討していく必要があります。

議会改革に関する意見では、「議会の会議が多すぎて若い人が参画しづらい」「今の議会の体制では若者や女性の立候補は難しい」といった意見がありました。特に、議会の活動日数の多さや、専門的な働き方が求められることが、議員のなり手不足につながっているとの指摘もあり、議会としては、他自治体の事例を参考にしながら、議会の在り方や活動負担を見直し、改革を進めていく必要があります。

議員定数の適正規模については、「人口減少に合わせて定数を減らすべき」「定数を減らすと議会活動が維持できなくなる」「定数を減らすことでさらに若者が立候補しにくくなる」といった賛否両論の意見が出されました。議会としては、単に人口減少に応じて定数を減らすのではなく、町の実情に合った適正な規模を見極める議論をさらに進めてまいります。

「町政懇談会と議会懇談会の違いがわからない」「行政と議会の役割の違いが明確でない」といった声もあり、議会としても、町民に対して議会の役割や機能をより分かりやすく伝える努力が求められておりますし、懇談会の開催時期に関する意見、「悪天候の時期に実施するのはいかがなものか」「町政懇談会と議会懇談会を分ける必要があるのか」といった疑問も寄せられ、今後、より多くの町民が参加しやすい形を模索していく必要があります。今回の懇談会で出された意見を踏まえ、なり手不足の解消、議会改革の推進、定数や歳費の見直し、議会活動の透明性向上などについて、引き続き検討を進めてまいります。

町政 4会場（12件）

町政に関して人口減少や財政運営、行政の支援策など幅広い意見が寄せられました。特に人口減少の影響を懸念する声が多く、「福島町は将来的に単独で運営を続けられるのか」「どこまで町民を支援していけるのか」といった質問があり、議員から「町の財政状況に関しては、国の交付税に依存しているため単独での判断が難しいものの、現在は比較的安定している」との説明を行いました。

一方で、「支援金の配布が多すぎて、住民がもらい慣れてしまっているのではないか」「財政運営に悪影響が出ないか」といった懸念の声や「福島町は他の自治体よりも給付金や支援策を早く実施しているが、早すぎるのではないか」との指摘があり、子育て支援策の早期導入が評価されている一方で、他町と比較し「福島町は支援を受けられないのか」と、実施時期のズレにより誤解が生じることが指摘されました。

「人口が減っても役場や議会の仕事が減るわけではなく、むしろ国の指示に対応するために業務が増えているのではないか」との指摘もあり、行政の業務負担増についても関心が寄せられました。

町政の根幹に関わる人口減少や財政運営については、今後も行政と連携しながら持続可能な地域づくりを進めていくことが重要です。特に人口減少対策については、単なる出生率向上の施策だけでなく、転入促進策や定住支援策など、多角的なアプローチが求められますし、行政サービスの持続可能性を確保するために、財政運営の見直しや支援策の効果的な活用について議論を深める必要もあります。

支援金の配布についても、住民の意識や財政への影響を踏まえ、慎重に制度設計を進めることが求められますので、議会としては、町の施策の方向性を注視しながら、適切な財政管理が行われるよう監視を続けてまいりますし、役場職員の減少に伴う行政の業務負担の増加についても、職員の働き方の見直しやデジタル化の活用など、負担を軽減できる方策についても議論してまいります。

教育 10会場（48件）

教育に関しては、福島商業高校の存続に関する意見が多数を占めました。「全国から生徒が来ているのは良いことだが、今後、生徒が集まらなくなったらどうするのか」「町外の生徒ばかり支援するのではなく、町内の子どもへの支援も考えるべきではないか」といった指摘がありましたし、高校生のアルバイト先が少ないこと、卒業後に地元に残る仕組みが必要との雇用に関する意見も寄せられました。

全国募集で入学した生徒が地域のお祭りや昆布のアルバイトに参加していることについて、「地域の活性化につながる」「町民との交流が生まれて良い」と好意的な

意見が多数寄せられた一方で、「高校の寮の建設に多額の費用がかかっているが、費用対効果はどうか」との意見も出されました。

町内の子どもへの支援については、町外の生徒とのバランスを考慮した支援策について議論してまいります。高校生の雇用創出については、地元企業との連携を強化し、働く場を確保する方策について議論を進めます。

高校寮の運営や費用対効果については、確かに多額の費用を要していますが、議会としては高校の存続が町に与える経済的・社会的な影響を考慮すると、その投資の価値は十分にあると考えています。高校がなくなることによる地域への損失は大きく、長期的な視点で高校存続に向けた施策を進めていくことが必要だと認識しており、町の将来に関わる極めて重要な課題であり、議会としても行政と連携しながら積極的に支援策を議論してまいります。

吉岡小学校の存続についても意見があり、少人数での教育の良さを評価する意見と、統廃合すべきではないかという意見が分かれていましたが、地域の声を尊重しつつ、児童数の推移を注視しながら適切な判断が為されるよう議論を進めてまいります。

産業観光 5会場（20件）

観光振興や産業活性化に関して多くの意見が寄せられました。特に、企業誘致について「近年進んでいないのではないか」との懸念が示され、日向地区への積極的な企業誘致を求める声や、「福島町の弱点は宿泊施設の不足である」との指摘もあり、公営住宅の一部を宿泊施設として活用することなどが提案されましたが、公営住宅の利用については、制度上の制約があるため、慎重な議論が必要となってきます。

岩部地区の観光振興に関する意見も多く、岩部クルーズについては「リピート客がいる」「全国規模のテレビで紹介されるなど認知度が上がっている」という評価がある一方で、「岩部クルーズの運行時間が早すぎるため、函館泊の観光客が利用しづらい」などの意見もあり、船の大型化や荒天時の運行対応についての課題も指摘されました。今後、岩部地区の観光資源を生かした地域活性化策が求められており、展望公園の整備など具体的な計画を進め、岩部クルーズの運行時間の見直しや増便など、課題が山積しているため、現状の維持と改善策について議論してまいります。

有害鳥獣対策については、特に熊の問題が深刻化しており、「2年前に人身被害を起こした熊は見つかったのか？」「熊の数が増えているが、どう対処するのか？」「春熊駆除を再開すべきではないか？」といった意見が出ました。特に、「町に降りてくる熊が増えている」「昆布加工場にも熊が出没している」との具体的な報告もあり、人身被害を防ぐための対策強化が求められています。

議会としても、熊や鹿の捕獲目標の見直しや、地域ごとの防除策の強化に向けた方策について議論してまいります。

企業誘致に関しては、福島町の地理的・経済的条件の制約もあり、誘致活動の成果が出にくい状況となっていますが、今後も可能性を探りながら、町の産業基盤を強化する方向性について継続的に議論を進めてまいります。

住宅定住 5会場（12件）

定住促進住宅や移住施策に関する様々な意見が寄せられました。特に、定住促進住宅の入居条件や建設計画についての疑問や要望が目立ちました。「定住促進住宅は入居者が決まっている状態で建てられているのか？」といった質問がありましたが、議員からは「事前のアンケート調査を行い、需要を確認した上で進めている」との説明がなされました。定住促進住宅と町営住宅の違いについての理解が十分に広まっていないことも伺えました。「定住促進住宅を整備していくなら、町営住宅の数を減らしてもよいのでは？」という意見もありましたが、議員から「対象者が異なり、役割を考慮する必要がある」と説明しました。「町外からこれだけの生徒が集まっているので、その親も福島町に移住できるような仕組みを検討すべき」との提案もあり、移住促進策の強化を求める声も挙がりましたが、建設コストが高額であることや、入居対象を子育て世帯に限定することに対して、「人口減少を考えると条件を緩和すべきでは」との意見も寄せられました。

移住政策についても、「現在の施策では移住者が増えず、定住施策に偏っているのではないか？」「移住となると生活基盤がないため、年金暮らしの人が多くなるのでは？」との指摘があり、議員からは、行政として、まずは町外への流出を防ぐことを優先しており、移住者については公営住宅の活用など柔軟な対応を検討しているとの説明がなされました。

空き家対策についても、「空き家を修繕して提供する考えは？」との意見があり、議員から「周辺への影響を考え、解体を基本方針としているが、空き家バンクなどを通じた活用も試みている」との説明がありましたが、現状では申し込みが少ないため、今後の運用について改善の余地があると考えられます。

町営住宅や公営住宅の活用を含め、定住と移住の施策がより効果的に機能するよう、今後も議論を深めてまいります。空き家対策についても、活用可能な物件を増やし、町の魅力向上につながる施策を提言してまいります。

福祉 5会場（16件）

福祉に関する様々な意見が寄せられました。特に、高齢者支援や医療、見守り活動に関する課題が多く挙げられました。高齢化が進む中で、「介護タクシーをもっと充実させてほしい」「病院に行きたくても行けない高齢者が多い」といった移動支援に関する要望が出されました。福祉灯油の支給額についても「物価高騰の中で、増額を検討してほしい」との意見がありました。

医療面では、町立診療所に関する意見が目立ちました。「利用者数が増えないのはなぜか」「診療所の評判が良くないとの声もあるが、どう改善するのか」との意見があった一方、「先生方が丁寧に対応している」「頼れる医療機関として大切に」といった肯定的な意見も聞かれました。議会としては、診療所が地域の医療機関として円滑に機能するよう、引き続き調査を行い、必要な改善点を議論してまいります。

高齢者の見守り活動に関しても関心が高く、「見守り隊のような仕組みを町内会で広げるべき」「一人暮らしの高齢者の安否確認が課題」といった声が寄せられました。議会としても、地域での支え合いが重要であると認識しており、高齢者や福祉制度の狭間にいる人々の声に耳を傾け、住民が安心して暮らせる町づくりを行政と連携しながら、より効果的な支援のあり方について議論してまいります。

防災 4会場（12件）

防災対策に関する様々な意見が寄せられました。特に、避難場所の利便性向上に関する意見が多く、「神社が避難場所となっているが、高齢者には登るのがきつい」「津波避難について、防波堤がない日向地区ではどう対応すべきか」など地域ごとの課題についての声や、「釧路で見た防災タワーのように、スロープを設けた避難施設が必要ではないか」との具体的な提案もありました。

避難施設の整備に関しては、「メモリアルパークの避難施設にプレハブが必要」「駐車場が狭すぎる」といった具体的な指摘もあり、より実用的な防災施設の充実が求められています。「漁村センターの解体が進んでいないが、改修して防災施設として活用できないか」といった提案もありました。

役場から自力で避難できない人のリストを町内会に頂いているが、誰がどの人を担当するかなどが決まっていないとの意見もあり、個別の支援体制の整備や「町内会ごとに二次避難場所を設けるべき」との意見もあり、町民の防災意識が高まっていることが伺えます。議会としても、防災対策は重要な課題と認識しており、町内会を通じた意見収集を進めながら、必要な施策について議論してまいります。

環境・インフラ 3会場（7件）

ゴミ処理、道路や海岸工事など、様々な意見が寄せられました。特に、ゴミ処理については「福島町のゴミ処理費用が近隣町と比べて高い」「町では電動ゴミ処理機への補助を行っているが、議員や担当職員が実際に使用していないため、説得力に欠ける」といった指摘がありました。町内に販売店がないことも課題として挙げられ、町民に対するPRの方法やゴミ減量化への取り組みについて議論が求められました。

インフラ整備に関しては、「海岸工事の進捗」「道路工事の優先度」などに関する意見がありました。海岸工事については、昆布漁への配慮から作業期間が制約されることや、道路工事の優先度が他地域の緊急度によって変わる点などに理解を示しつつも、より円滑な進行を求める声もありました。

議会としては、ゴミ処理に関して、町内での啓発活動の充実や、実際に機械を使用した上でのPR方法を検討していく必要があると認識しています。インフラ整備については、国や道の対応が必要な案件が多いため、行政と協力しながら住民の不安を解消できるよう努めてまいります。特に、岩部までの道路については、岩部地区が無居住となったことにより、国・道の対応が懸念されるため、町の将来像を見据えた適切な対応が求められています。

町内会 7会場（12件）

町内会に関しては、「運営の担い手不足」「役割の変化」「地域活動の停滞」という大きく三つの課題が挙げられました。

運営の担い手不足 については、「町内会の役員のなり手がいない」「若い人が協力してくれない」「総会の参加者も少なく固定化している」との意見が寄せられました。人口減少や高齢化の進行により、町内会の維持が困難になっている状況が浮き彫りになりました。役場の業務が拡大する中で、町内会の役割が以前よりも縮小しているとの意見もありました。

町内会の役割の変化については、「町内会を通じて行っていた役場からの配布物が、委託に切り替わったことで町内会を経由しなくなった」「町内会を頼らない方向に変わってきているが、結果的に町内会に依頼が戻ってくる」といった意見が出され、行政との関係性のあり方が課題として挙げられました。

地域活動の停滞 については、「町内会の行事が減少し、コミュニティづくりが難しくなっている」「老人クラブの加入率が低く、男性は特に消極的」といった声や、「植えた花が盗まれる」「会館の前の舗装工事が進んでいない」といった環境整備に

関する問題も指摘されました。

町内会の運営課題については、町内会連合会とも協力しながら、町内会の役割や支援のあり方について検討を進めていく必要があります。特に、担い手不足の解決策や行政との連携の見直し については、実態を把握しながら柔軟に対応することが求められます。

地域活動の停滞については、町内会の機能を維持しつつ、時代に合った役割に適応し、町民が参加しやすい仕組みやイベントの在り方を再検討し、地域の活性化につなげる施策を考えることが求められます。特に、若年層が町内会活動に関心を持てるような仕掛けをつくることも重要な課題と考えます。

その他 5会場（13件）

伝統文化の継承については、指導者によってやり方が異なり、長年関わってきた住民と教育機関との認識に違いがあることも見受けられ、正しく伝えられていないのではないかという声がありました。今後、関係者間の連携を深め、適切な技術の継承が図られるよう検討が必要と考えます。

広報のあり方についても意見が出されました。議会だよりだけでなく町の広報全般に対して、よりわかりやすく充実させるべきとの声がありました。議会としても、住民に必要な情報が伝わるよう工夫を重ね、引き続き広報の充実に向けた取り組みを進めてまいります。

除雪に関する課題も挙げられました。堆雪場の確保や業者との調整について住民の負担が大きいとの指摘がありました。町が主導して適切な対策を講じることが求められており、議会としても状況を把握し、改善に向けた働きかけを行っていく必要があります。

パークゴルフ場の管理に関して、水道代の制約が芝の維持に影響を及ぼしているとの懸念も示されました。議会としても現地の状況を確認し、適切な対応が取られるよう提言してまいります。

4. 地区別懇談会の開催状況

全 17 会場の地区別参加者数は下記の通り。

なお、次ページ以降は各会場別の懇談会報告書を掲載しております。

開催日	対象地区	会場	参加者数	男性	女性
2/3（月）	松浦、吉野	松浦・吉野町内会館	6	5	1
	吉田町、館古	役場（機能回復室）	3	3	0
	豊浜、宮歌	宮歌・豊浜町内会館	9	9	0
2/4（火）	吉岡1・2、吉岡3	吉岡総合センター	8	6	2
	白符	白符町内会館	8	6	2
	上町、本町、川原町	役場（機能回復室）	2	2	0
2/5（水）	日向1、日向2、日向3	日向町内会館	3	3	0
	館崎1、館崎2・3	吉岡総合センター	3	3	0
	月崎1	月崎1町内会館	5	2	3
2/6（木）	月崎2	月崎2町内会館	7	4	3
	丸山団地	丸山コミュニティセンター	2	2	0
	塩釜、浦和、岩部	塩釜町内会館	2	2	0
2/7（金）	緑町	福祉センター	1	1	0
	新栄町	新栄町集会所	4	3	1
2/10（月）	三岳1	三岳1町内会館	4	3	1
	三岳2	三岳2町内会館	1	1	0
	千軒	千軒活性化センター	9	4	5
計			77	59	18

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.3 (月) 17:56 ~ 19:09
 対象地区 松浦・吉野 (松浦・吉野町内会館)
 参加議員 平沼議員、木村議員、熊野議員 (事務局：鍋谷)
 参加者数 6人 (男5人、女1人)
 [対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆ (説明済)	議員の仕事は大変だと思っており、漁師や農家が簡単に出来ないと感じている。 また、なり手不足は報酬の問題ではなく自身の仕事が忙しいことが要因ではないか。自営業でないと無理では。	今、議員には一次産業等の専門家がない。また、女性議員もいないため質問意見等に生活感がない。 議会も働き方改革は必要とは思っている。例えば漁師の方であれば夏は欠席して、それ以外の期間だけ出てきてもらうことも有りではないかと思っている。議論はこれからですが。
1【議会】	☆ (説明済)	大半の人は議員になったことがない。漁組等へ相談してみても。20代、30代出てくれば良いが・・・	今の議会の体制 (通年議会、所管事務調査など) では、若者・女性は無理だと思っています。
1【議会】	☆ (説明済)	簡単に決められるものではない。責任が重く自分には無理。(女性)	前向きに考えてほしい。 現制度では無理だが、クォーター制なども検討して行ければ・・・
2【町政】	☆ (説明済)	① 福島町は人口減少が続いている。先を考えると、町がどうなるのか、福島町としてどこまで単独でいけるのか議員は考えているのか？ ② 財政も厳しくなっていくと思うが、どこまで町民を支援していけるのか？	① 人口600人台の村もある。 また、函館市の例もあり安易に判断はできないと考えている。 ③ 町の財政は国の交付税に大きく影響されるため、どこまでといった事は計りづらい。しかし地域商品券といった支援は国の政策を見極めながら行っており、また、今の町長になってから基金も一定水準を維持しているため、現状財政は比較的安定しています。
3【教育】	☆ (説明済)	① 高校、令和7年度の出願者は何人になったのか？ ② 中学の卒業生何人いたのか？ ③ 主な進学先はどこなのか？	① 20人、内、町外からは16人です。 ② 16人です。 ③ 主に知内と聞いています。
3【教育】	☆ (説明済)	学生寮 (青少年交流センター)、今年増築しているが、今後、更に増築を検討しているのか？	これ以上の増築は考えていない。 今後は定員を決めて募集していくこととしている。
3【教育】	☆ (説明済)	高校、昨年は入学者が増えて町民からは肯定的な意見も多いと思うが、来年以降、入学者が減った場合、増築までの学生寮をどうするのか、町・議会では議論しているのか？	同施設は寮として使用しているが、基本的には移住・定住者に対応した交流センターとして整備している。 仮に高校生がいなくなった場合についての具体的な議論はしていない。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.3 (月) 18:00 ~ 19:00
 対象地区 吉田町、館古 (役場)
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、平野副議長 (事務局：山下)
 参加者数 3人 (男3人、女0人)
 [対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
5【住宅定住】	☆ (説明済)	定住促進住宅は入る人が決まっているから建てたのか。	入る人は決まっていない。今後の募集次第。今から入る人が決まっているのは問題がある。
3【教育】	☆ (説明済)	青少年交流センターを建てることについて、箱物を建てたことによる将来的不安がある。道北では、学校が廃校となり、建設した寮を外国人に開放し今では90%を占めるところまでであると聞く。	福島商業については、10名以下にならない限り廃校にはならない。道立なので、道がきちんとその辺実施することとなる。当町で外国人が住むセンターにすることはないと思う。
1【議会】	☆ (説明済)	参画者が少ないってことは、議会に興味がないということではないか。	参画者が少なくなった原因は、インターネットでも閲覧可能となったことも要因ではある。
10【その他】	☆ (説明済)	電気量とか燃料費等を調査がきて回答した。今後どのようなことを進めていくのか	2月25日にある程度の調査結果があがりわかってくると思われます。その時に今後のスケジュールも把握できるかと。
9【町内会】	● (町行政)	改善センターの解体が令和9年度ときいているが。その後、町内会で集まる場所がほしい。	改善センターの解体が決まり、今後どうその土地を有効活用するか町内会に話があると思われるのでその段階で町へ要望してください。
3【教育】	● (町行政)	福島商業高校に通う生徒は、免許取得等には補助されている。福島商業以外に通っている高校生の親の間では、福島町に税金を払っているのに、地元高校へ進学しなかっただけで、私たちの子どもには助成してくれないのは不公平だと意見がかなりあり不満があります。	内容について、このような話があったことを町行政側につたえます。
4【産業観光】	☆ (説明済)	2年前に発生したクマの人身被害。その後、そのクマは見つかったのか。クマが寄り付かない環境を日向地区に作った方がよい。	人を襲ったクマについては、見つかっていない。DNA鑑定してもいまだに見つかっていないと聞いている。
4【産業観光】	☆ (説明済)	最近、企業誘致が進んでいないとみているが、日向地区にもっと積極的に企業誘致したほうがよい。	なかなか福島の条件で来てくれる企業がない。誘致活動は行っていると思う。

町民と議員 町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.3 (月) 18:00 ~ 19:10
 対象地区 宮歌・豊浜 (宮歌・豊浜町内会館)
 参加議員 佐藤議員、杉村議員、溝部議長 (事務局: 角谷、熊谷)
 参加者数 9人 (男9人、女0人)
 [対応凡例: ○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆ (説明済)	昨年12月に町政懇談会、2月に議会の懇談会ということで、毎年開催されています。できるだけ出席してもらおうと声かけをしていますが、その時に聞かれたりすると困ることがあります。というのは、ついこの間、12月に町政の懇談会があって、2月にまた懇談会やるということ。 議会と行政の関係、構成について、今日出席している方の中にも、こういう疑問があると思います。ある程度簡単にでもご説明いただけたら。	議会と行政の関係や役割について説明。(独任制と合議制、予算執行と予算決定等) 同じような懇談会を繰り返す必要はないのではという声も聴いているが、町は当然住民の声を聞かなくてはならないが、議会としても住民の声を聞く機会を持ちたいと考えている。町政懇談会では言えなかった話を議員との懇談会ですることでもできるので、気さくに色々な話を聞かせていただきたい。
3【教育】	☆ (説明済)	福島の高校は道立ですね 来年度の入学者数と入寮予定数を教えてください。	高校の入学者見込み数は20人、入寮見込み数は14人。
3【教育】	☆ (説明済)	入学予定者の内、町内の子供は何人ですか。	福島中学校からの進学予定者は4人。
3【教育】	☆ (説明済)	寄宿舎やその他諸々の経費がかかりますが、道立ということで、町からいくぐらい出ているのか、全体の何割位かわかりますか。	R6.4.17総務教育常任委員会の資料に基づき、寮の増築部分を例に事業費と国や道からの補助、町の持ち出し分を説明。
3【教育】	☆ (説明済)	福島商業に全国から生徒が来ていますが、何か目玉になるものがあってそれに飛びついてきているんですか。何か得することはあるんですか。	オープンキャンパスで在校生や先生方の対応、寄宿舎の見学をしてもらっている。また、東京や札幌の説明会では、在校生が自分たちの言葉で高校や寄宿舎での生活を話しており、非常に評判が良い。福島と同じような対応をしても、上手くいっていないところもあると聞いている。全体的に人口が減り、児童数が減る中で学校を維持するというのは相当の努力をしなければならない。寄宿舎の考え方も、それがなければ今のような形は無理だということで建築に踏み切った経緯がある。
3【教育】	☆ (説明済)	私も高校の卒業生で、残したいという考えは今でも持っていますから、議員さんの力で何とか残していったほしいという願いです。	今の計画では、これ以上増やしていくということではなく、年15人程度で維持していく計画。パイ自体が減っていくため、生徒の奪い合いになっている部分もある。奥尻など特色ある地域でも厳しい状況になってきているため、油断せずに教育長中心に一生懸命PRしながら生徒募集を頑張っていく。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
3【教育】	☆（説明済）	高校存続の話とは相反することになりますが、福島には福島小学校と吉岡小学校があります。他にもいくつか小学校もあったがそれぞれ廃校になっている中で、吉岡小学校がまだ存続しているという事に疑問があります。 PTA等が反対したというような話も聞いたこともあるが、子供のことを考えていくと、人が少ない中で育てていくのがいいのか、何十人の中である程度競争させながら育てていくのがいいのか、今の生徒数は少し不自然かなと思います。 また、小学校は町立でお金もかかっていると考えると、何とかできないのかなと。このようなことを言うとPTAの人たちに怒られてしまうかもしれませんが…。	保護者や地域の思いを尊重し、今の状態になっている。町から無理に合併しなさいというわけにもいかない。 過去に吉岡幼稚園の閉園にあたっては当初教育委員会側から閉園する方向で話が進められたが、議会としても当時のPTAの方々の話を聞くなどし、最終的にはPTA側とよく話し合い納得した上で閉園することとなった。そういったこともあってか、中学校の統廃合時はそれほど混乱もなく進められた。 吉岡小学校については児童数が10名を割った段階で検討しようという話になっているが、10人を切る寸前の数字で維持されている状態。あと2、3年くらいたったらその段階でもう1度話をし対応するという事になっている。
3【教育】	☆（説明済）	吉岡小学校の建物が使えないような段階になったらどうするのですか？	そこまで長くかかることはないと思う。校舎自体はまだしっかりしているため大丈夫。
3【教育】	☆（説明済）	吉岡小学校の先生や用務員など、児童の人数に対する職員の経費なども結構かかっているんだろうなと考えると、一町民として気がかりで聞いています。	先生の給料などは道から出ており、町立学校だからといってすべての経費を町で負担しているわけではない。
3【教育】	☆（説明済）	吉岡小学校に通う子供の成長を考えたらやっぱり少人数でやるより、大人数の中で成長させていくことが大事では？	吉岡小学校の運動会などを見ていると、小規模の良さもあるように思う。町内会の方もたくさん来てくれている。
5【住宅定住】	☆（説明済）	高校の寮の前にあるスペースは何をするところですか？	定住促進住宅の建設用地。子育て世帯向けの住宅なので、子供たちが高校を卒業したら出てもらうことになる。
5【住宅定住】	☆（説明済）	（定住促進住宅を整備していくのであれば）今の町営住宅はあまり数多くいらぬのでは？	町営住宅と定住促進住宅は対象者が異なることを説明。
6【福祉】	☆（説明済）	松前から吉岡温泉に来たお客さんがとてもよくなったと言っていた。	旧温泉の雨漏り原因等を説明。
6【福祉】	●（町行政）	温泉の湯舟で排泄をしてしまう人がいて、その度に対応で何時間も待たされることもある。何とかするにもわざとしていないわけではないだろうから難しい問題だとは思いますが…。1、2回ではなく自分が覚えているだけでも5回くらいあった。男性側だけではなく、女性側でもあると聞いている。	故意にしているわけではなく、高齢化等によりしてしまうような事もあるのではないかと思う。事前にトイレに行くよう促すなどするにも失礼にもなりかねないので難しい。議会ではそういった情報までは聞いていなかった。確認をしてみる。 →2/4福祉課に確認。状況は把握しており、対応している。
9【町内会】	☆（説明済）	我々部落でやっているが、何をするにも若い人が協力をしてくれない。年配者ばかりでやっている。これから先のことを考えれば希望もないような状態。やれる内は頑張ってみんなで協力しながらやっていくつもりでいるが、中々うまくいかない。	町内会役員のなり手などがいないという悩みは他の町内会でも出てきている。
9【町内会】	☆（説明済）	町内会での要望等も我々の方でやるよりも、役場の方で先にみてくれている。毎年同じことの繰り返しのようなものだから対応はしてくれている。	以前は町だけで対応できず、上級官庁の対応などを含めて応えていたが、そういった内容も逐次調整し、大方対応しているという状況になってきていると思う。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.4（火） 17:58 ～ 19:14
 対象地区 吉岡1・2、吉岡3（吉岡総合センター）
 参加議員 平沼議員、木村議員、熊野議員（事務局：鍋谷）
 参加者数 8人（男6人、女2人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	12月会議の一般質問、ハンターの件について行っていたのは良かった。福島町はクマの問題もあるが、ハンターの後継者という難しい問題もあると思っていたので。	現在1名が見習いとして経験を積んでいることを説明。
1【議会】	☆（説明済）	現在1名欠員となっている中で、専門的な分野（委員会）を分けてやっているのであれば、欠員分は負担になっていると思うが、支障は出ていないのか？	現在、総務委員が6人、経福委員が5人となっているが、委員外議員として参加するなど協力してやっている。
1【議会】	☆（説明済）	そうであれば、定数を減らしても良いのか…。	委員が1人減るということは、その分意見が無くなるということ。8人で10人のことは出来ない。
1【議会】	☆（説明済）	じゃあ、人口が減っても定数10人で行くということなのか？	人口が減っても町の仕事は減っていない。そこで所管事務調査も多く、定数を減らした場合、議論が抜け落ちる危険がある。
1【議会】	☆（説明済）	議長、副議長はどうやって決めているのか？ 議長、長いのが少し気になる。若い人に対してプレッシャーになるのでは？	議員で選挙により決めています。
1【議会】	☆（説明済）	議員活動を行うにあたって議員の高齢化は気になる。	議員構成の現状を説明。 現状、議員平均年齢 67.7歳
1【議会】	☆（説明済）	昔は自営業者が多かった。今は自営業者もそんなに居ない。 役場OBも居ないと思うが、役場OBであれば2～3期はやれるのでは？	役場OBは現役時代に関わってきたため、もういいという気持ちかもしれません。
1【議会】	☆（説明済）	次期、出ない人はいるでしょ？ でも、定員割れすれば、そういう人もなれるんだよね？	宣言した人はいますが、最後はその人の意思次第です。
1【議会】	☆（説明済）	町の仕事の分野も考えなければならぬ。人口が減ったとしても定数を減らすとはならない。しかし、平均年齢が上がっているのは気になる。何が正解か分からないが、今の議会の活動日数を見ると躊躇すると思う。 諮問会議委員とかの手ごたえはどんな感じなのか。一般町民は後ずさりすると思う。	諮問委員はなかなか厳しい。 若い人が立つには収入等の足かせがある。 雇われている人が議員になるには雇用主の理解がないと無理。 福島町の今の活動量では無理なのかもしれない、議会を改革していく必要がある。
1【議会】	☆（説明済）	会議が多く、若い人は二の足を踏む。その辺を改革する必要があるのでは？ モニター制でもなんでもやって興味をもってもらえる様にする必要があると思うが。モニターやれば、若い人もその辺分かるかなと思う。環境を作るのが大事。事業主への理解を得ることも大事、後継者は大変だと思う。	今月、議員の学校について研修会を実施する。福島町も思い切ったことをやる必要があると考えています。
9【町内会】	☆（説明済）	町内会に若手が居ない。	町内会で若手を議員を出させませんか？

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.4 (火) 17:57 ~ 18:52
 対象地区 白符（白符町内会館）
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、平野副議長（事務局：山下）
 参加者数 8人（男6人、女2人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
10【その他】	☆（説明済）	家の前の河川道路に桜の木、栗の木がある。枝が折れてきて車に傷もついた。川涸にはタイヤなども投げられている。こういった被害は誰に言えばいいのか。役場の職員が来た時に話をしたら苦情は受け付けませんと断られた。	基本的には、個人同士の問題となるが、道路用地であれば、町に話をして伐採してもらうとか、町内会長を通じて役場をお願いをすとかしたほうがいい。
1【議会】	☆（説明済）	こういった集まりに若い人がこないのは、やっぱり意識がない。もっと議会が参画を呼び掛けてこれでもかと執拗な行動も必要だと思う。 30万くらいないと、今の若い人は出てこないのでは、報酬上げるとまた苦情が来ると思う。もっと若者が参画できるように頑張ってもらいたい。興味をもてるように僕らも頑張って呼び掛けていきます。ただ片手間で働ける職業ではないから仕方ないといえば仕方ないかもしれない。	頑張ってもらいたい。若い人が興味持てるように呼び掛けていきたい。
1【議会】	○（議会）	木古内で議員を減らすといった話があるが、今の福島は自然現象で減ってしまうと思う。今の仕事を捨ててまで議員の仕事をする気になれない。	
1【議会】	○（議会）	100日出ることが今の若い方が出てくる仕事のスタイルを見つけることが必要。	
7【防災】	☆（説明済）	神社が避難場所となっているが、年寄りでは登るのがきつい。	釧路で防災タワーの情報をみた。ゆるやかなスロープで年寄りも安心して登れるようなもの。
7【防災】	☆（説明済）	災害物資置き場。白符地区にもほしい。	現在計画を立てており、国からの補助金を活用しながら進めている。町内会の要望として提出してみたい。
7【防災】	●（町行政）	町内会で相談して災害等の避難場所を作ってもらえるのも一つの手である。確かあの丘は町有地だと思ってるので、木を伐採すれば一時避難場所としていい。	
5【住宅定住】	●（町行政）	青少年交流センターにこれだけ生徒が集まったのだから、その親も福島に来て移住できるような仕組みを考えてみてはどうか	
4【産業観光】	●（町行政）	福島町の弱点は、宿泊場所がないという点であり、赤レンガの公営住宅の3階を利用して宿泊場所として準備してやれば体験等での人集めも可能ではないか。（ただし、公営住宅の用途の問題あり）	
4【産業観光】	●（町行政）	岩部クルーズの便を8時運行としているが、どうしても函館泊り客が8時で出航は早すぎるので、宿泊場所の確保。活気ある町を作るためには、協力はしていくつもりである。	

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.4(火) 18:00 ~ 19:15
 対象地区 上町、本町、川原町(役場:機能回復室)
 参加議員 佐藤議員、杉村議員、溝部議長(事務局:角谷、熊谷)
 参加者数 2人(男2人、女0人)
 [対応凡例:○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆(説明済)	歳費は上げても構わないと思う。それなりの活動日数もあるし、活動内容も片手間にできるものではないのだから。ただ、人口が減少する中で必然的に適正な定数を考えることになるのでは。	福島より人口の多い木古内で定数を減らす方向で話をしているので、福島でも減らすべきではという声もある。
1【議会】	☆(説明済)	適正な定数というのは、全道レベルで考えるべきなのか、それとも渡島や近隣町といったレベルで考えるべきなのか。	定数の考え方として、400人に対して議員1人としている。前回の時点でギリギリだったので、次の選挙では間違いなくこの基準には合わなくなってしまう。福島町議会は常任委員会での活動を重視して、議会としての考え方を行政に伝えるという形式をとっている。定数を減らした場合、減らした定数での議会のあり方を考えなくてはならない。今後、芽室町など先進地を視察して情報を集め、今後どうしたらいいか考えていく予定。近隣町の中で最も人口が少ないのは福島町であり、福島より人口の多い木古内や鹿部でも定数を1名減らしている。しかし、人口が減ったから定数も減らすという単純な話でもない。
1【議会】	☆(説明済)	当面、定数はそのままでもいい。定数を減らしてしまうと若い人が入りづらい形になってしまうのではないかと。人口が減ったのだから定数も減らすという単純な話ではなく、若い人が入ってこれる体制を作っていくというのも今議員をしている人たちの役割ではないかと思う。	クォーター制について説明。前回の選挙前、新たな立候補者の掘り起こしとして、各種団体の青年部や女性部と議場で懇談会や、諮問会議の人数を増やすなどの対応を行ったが、新たな立候補者はなかった。
1【議会】	☆(説明済)	新たな立候補者が出てこないのは報酬が低いからではないか？	報酬だけで生活していけるレベルになれば良いのだろうが、現実的に難しい。
1【議会】	☆(説明済)	定数や報酬を考えると、若い人たちが入る道を残すように考えて行った方がいいと思う。	常任委員会を維持できるようにしていきたい。今回の懇談会についてなり手になり得る団体等に案内を送ったが、今のところ参加者はいないようだ。
1【議会】	☆(説明済)	これだけの日数を活動するとなると、仕事を持っている人は難しいのではないかと。対策としては報酬を上げるしかないのではないかと。	漁業者などに話を聞くと、仕事と両立するのが厳しいという話がある。家族からの理解が得られないという話もある。女性だと、旦那を差し置いて出るとするのも難しいのかもしれない。
1【議会】	☆(説明済)	町内会長でも、配偶者や家族の理解や協力がなければ活動することは難しい。	議員もその通りである。
1【議会】	☆(説明済)	一方ではお金をもらっているのだからという人もいる中で大変だと思う。	議会の歳費の考え方について説明
1【議会】	☆(説明済)	議員の報酬は全国で同じではないのか	昭和30年に全国議長会で議員報酬を計算するモデルを示したが、全ての議会がそれを採用しているわけではない。近隣町での上げ下げに合わせているところもある。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	道や国会議員もそうなのか？全て統一したらいいのでは。	道議会議員や国会議員は町村議会とは違うと思う。
1【議会】	☆（説明済）	町村議会の方が進んでいる。国会などは職員が質問を作っているらしい。	一生懸命な人もいると思うが、学芸会だと言われてしまっているところもある。
2【町政】	☆（説明済）	道内で刊行されている週刊誌で、道内にあるほとんどの自治体が将来消滅するというような見出しを見た。	消滅自治体としている基準が何かわからないが、おそらく高齢化率が一定を超えているところは、というものではないかと思う。
2【町政】	●（町行政）	テレビで、今年の成人対象者がいないのは全道で福島だけというニュースを見た。驚くとともにがっかりした。	そういった報道があったのは承知している。詳細について町にまだ確認していないが、今後確認しなくてはと思っている。
2【町政】	☆（説明済）	生まれている子供が0ということではないが、絶対数が少ない。	12月末の段階では転出より転入の方が多い。しかし、出生より死亡の方が多いので全体としては減少している。全国募集で入学する子供たちなどで転入者は少し増えている。
2【町政】	☆（説明済）	何をするにしても年寄りばかり。地区の住民に声掛けをして回るが年寄りばかり。	高齢化しているので確かにその通り
2【町政】	☆（説明済）	最近、コロナなど国からの手厚い支援で随分と金目のものを配ってくれてありがたいが、少し配りすぎではないか。もらい慣れしてしまうという部分もあるし、今後の行政運営に対して足枷になるのではないかと心配。 補助金の条件などがあるのかもしれないが、現金ではなく、違った形で配るなど工夫できないものか。	国や道の状況を見ながら対応しており、無理をしながら対応しているということではない。財政状況も特別厳しい状況ではない。
2【町政】	☆（説明済）	財政は心配していないが、お金を配りすぎる事による弊害がこれからの行政運営に与える影響が心配。	確かに、今まで配っていたものをやめるとなると「もうくれないのか」と言われる懸念はあるし、実際にそういう声も聞いている。
2【町政】	☆（説明済）	福島町は給付金など様々な面で早く動いた関係で、他の自治体が行っている対応の記事などを見て「うちはもらえないのか」と勘違いしている人もいる。少し早すぎる面もあるのではないかな。	早く動くという部分では、子育て環境などについて給食費の無償化など国に先駆けて行ってきた。ようやく国の対応が追い付いてきている状況。
2【町政】	☆（説明済）	ふるさと応援基金について、近々何か使う予定はあるのか。	最近だと青少年交流センターの財源として5,000万を基金から出すことになっている。
3【教育】	☆（説明済）	高校生は入学時に入ってくるが、3年経つと卒業していなくなってしまう。	来年度も20人の入学者を確保している。オープンキャンパスや札幌、東京での説明会で生徒による説明で好感を持ってきてくれるようだ。 松前や知内でも生徒の確保に苦労していると聞いている。今後も油断せずに生徒募集をしていく必要がある。
3【教育】	☆（説明済）	町民の人たちも高校の生徒に対して理解してくれているようだ。 先日、昆布ラーメンの販売会でも行列になり、数を限定して販売するなど盛況だった。値段が手頃ということもあるが、味も美味しかった。	地域の人たちが理解してくれて何よりだと思う。吉岡小学校の運動会に高校生が手伝いとして参加するなど積極的に地域に入って活動している。小学校の子どもや先生たちも喜んでくれていたもので、今後も継続してくれると良いと思う。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
3【教育】	☆（説明済）	お祭りにもたくさん参加してくれていた。地区によっては高校生をお祭りの人手として希望しているところもある。	神社の行列に参加していたとも聞いている。良いことだと思う。
3【教育】	☆（説明済）	高校の子供達からは、アルバイト先がないという話を聞いている。	その話は聞いている。昆布などは時期が限定されているし、通年で働けるようなアルバイト先がない。
5【住宅定住】	☆（説明済）	定住促進住宅を何棟か建てる計画があると聞いている。 今後の計画はどうなっているか。	2年に1棟、10区画に建設する計画。議会としては財政状況を見ながら可能な範囲で前倒しにするなど早めていった方がいいのではと意見を伝えている。 坪単価500万と高額であり、毎年建設することは難しい。単価が高い要因は建築様式が北方型という北海道のモデル的な新しい様式であることがあげられる。 子育て世帯向けの住宅であり、子供が高校を卒業したら退去しなければならないが、福島町の人口を考えるともう少し条件を緩和してはと意見を伝えている。
5【住宅定住】	☆（説明済）	定住促進住宅を建設しても、入居を希望する人がいるのかという疑問もある。	事前にアンケート調査を行うなど、需要を確認した上で進めている。
5【住宅定住】	☆（説明済）	将来的に条件を満たす入居希望者がいなかった場合は、高齢者など条件外の人にも対象にするのか？	現段階ではそういったことはないが、今後の人口減少を考えると難しい状況もあると思う。
9【町内会】	☆（説明済）	町内会そのものが高齢化しており、役員のなり手が少ない。総会にも参加する人も少なく参加者も固定化されている。 自分たちでやり方を工夫するなどできることをやっているが、コミュニティづくりがなかなかできない状況に悩んでいる。	以前はお祭りや町民体育祭、福島小学校の運動会での地区対抗競技などを行っていたが、人口が減ってきた中で昔のように行事を行うのは難しい。 役場で直接なんでもやるため、町内会の役割を見直す必要もあるのかもしれない。役場からの配布物についても町内会に依頼している場合と個人に依頼している場合がある。
9【町内会】	☆（説明済）	役場からの配布物について、委託になってから、町内会を通さなくなった。しかし、委託を受けてくれる人が見つからないと困って町内会に話がくる。 最初から町内会に話をしてもらって、後のやり方は任せてもらえればいいのだが、行政とのやりとりが少しくまいていない。 ただ、町内会側も役場に頼りすぎている面もあるのは事実なので、相談していかなくてはならない。	町内会連合会で配布物の話は聞いた。なるべくなら町内会に話を通した方がいいように思う。
9【町内会】	☆（説明済）	連合会の活動で植えた花が盗掘されることがあり、中々活動が広がっていない	車で来てごっそりととっていくようなことも見たことがある。注意すればその時はなくなるが、その後で盗っていくようだ。
9【町内会】	☆（説明済）	男性は老人クラブに中々入らない傾向がある。声をかけると、「何をそんなもの」といった反応をされる。	老人クラブに入ると年寄り扱いされるような気がして嫌だというような話も聞く。クラブの名前を変えてみては。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.5（水） 18：15 ～ 19：25
 対象地区 日向1、日向2、日向3（日向町内会館）
 参加議員 平沼議員、木村議員、熊野議員（事務局：鍋谷）
 参加者数 3人（男 3人、女 0人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	議員には地域の声を聴いてもらえと思っている。人口が減ったから議員を減らせという考えはない。 議員の定数としては今の10人がギリギリだと思っている。 町内会が要望したことは大体解決しているため、問題があるとは思っていない。	人口が減ったら議員も減らすべきとの声は一定数ある。 人口が減り、町も要望などは大体対応しているので議員の意義が薄れてきているとは感じている。
1【議会】	☆（説明済）	町内の団体に声を掛けてはどうかと意見したことがあり、実際やったようだが、それでも如何にもなっていないのであれば、世襲に頼るしかないのではないのか。	議会の働き方も検討していく必要があると感じている。 会議の数が多い所も整理していくことも考えている。
1【議会】	☆（説明済）	モニター制は良いと思う。	モニター制は他町において実績があり検討している。 先進地の取り組みをマネして実施することも必要と感じている。
1【議会】	☆（説明済）	漁組などは補助金など要望を出しているのに議員を出すという気持ちにならないのか。それが残念に感じる。	できれば出てほしいと思っている。 可能かどうかは別として、漁業者でなくても漁組の職員などでも良いのではと思っている。
1【議会】	☆（説明済）	町長と議員がきちんと議論してやっていると思っている。 議員が一生懸命やっているから、町民から不平不満が出ていないと思っている。	昔から見ると計画の精度などは上がってきていると思うが、一次産業などについては専門的な知識が足りない部分もある。
1【議会】	☆（説明済）	コンブ業者は世代交代されていると思っており、後継者が育った所の親に議員になってもらえれば良いと思うが、今口説けるとしたらそこの辺くらいではないか。	コンブは一定期間に集中して忙しくなるため、議会活動との調整が難しいことが想定される。 議会としても会議の開催時期等を議論していくことも必要と考えている。
1【議会】	☆（説明済）	女性部の部員も高齢になっているが、一人二人出来そうな人はいると思うが、各団体との懇談の際に出れない理由とかは聞いているのか。	真面目に受け取ってくれていない部分もある。 家族から説得していくことも手かなと思っている。
7【防災】	☆（説明済）	津波避難、日向は防波堤もないので、高台に避難するか、車持っている人は隣近所見て逃げるしかないと思うが、道路のこともあるのでダメだと思っているが、町はどう考えているのか聞きたい。	今、町では避難対策の計画策定を進めており、これから町内会に入って意見を聞くこととしている。最初から無理だと言わず意見があったら言って下さい。
7【防災】	☆（説明済）	自力で避難できない人のリストは役場からもらっているが、誰が誰を担当するといったことは町内会で決めることになるのか。	町内会で色々あると思うが、行政に全部は無理なんです。
7【防災】	☆（説明済）	町に言いたいのは、二次避難場所に町内会毎の場所を作ってほしいということ。	町内会で意見をまとめて、これから予定されている説明会に出してほしい。 議会としても議論していきます。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.5（水） 17:55 ～ 18:55
 対象地区 館崎1、館崎2・3（吉岡総合センター）
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、平野副議長（事務局：山下）
 参加者数 3人（男3人、女0人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	定数割れになって、1減のままでいいのか？2減とし、報酬を上げた方がいいのではないか。	情勢を見ると人口も少なくなってきたり、1減もしくは2減となっても仕方ないと思っているが、そうすると委員会の維持が大変となってくる。
1【議会】	☆（説明済）	報酬を上げて若い人が入れるようにしたらどうか？	難しいけども8年までに委員会の維持、報酬等の協議を進め結果を出す方向で、動いている。
1【議会】	☆（説明済）	委員会の人数が少ないと大変ではないか？	委員会の回数が昔より多い状況ではある。
1【議会】	○（議会）	仕事をして20万ちょっともらって生活するのは、若い人だと厳しい。委員会が20数回に定例会、その間仕事を中断しなければならない。	
1【議会】	○（議会）	若い人は何もやりたくないと言っているわけではない。時勢が悪い。どうしてもお金がかかる世の中であり、仕事をしながら議会の活動をするのは、厳しい。	
1【議会】	○（議会）	議員定数を維持するためには、人口を増やしていくほかない。	
1【議会】	○（議会）	議員を四町でやるのはどうか。この渡島西部四町は協力的な町だし、町長同士各町でも同じ問題を抱えている。話し合えば実現するのではないか。	四町でやるといっても、実際は単町の予算等の協議を行う場でもあり、難しいと思う。ごみや有害鳥獣施設は実施できているが。
3【教育】	●（町行政）	このまま高校も順調にいったほしい。生徒の取り合いが始まっている。	
3【教育】	●（町行政）	高校生のアルバイト先として、日雇いで町のイベント等で雇うことはできないのか。お祭りの踊り子等積極的に参加している。	
6【福祉】	●（町行政）	最近年配者は見放されている。介護タクシーをもう少し充実させてほしい。病院へ行きたくてもいけない年寄りが多い。何とかしてほしい。	担当課へ話があったことについては伝えておきます。
4【産業観光】	●（町行政）	山の法面の杉が倒れそうだが、町にいったら出来ないと断られた。家屋等にも倒れてきたら大変なのでなんとかしてほしい。（酒井俊忠宅裏法面）	担当課へ話が合ったことについては伝えておきます。どうして断ったかの情報も不十分なため再度確認します。
7【防災】	☆（説明済）	メモリアルパークにプレハブが欲しい。夏場はいいが、冬場は寒くて避難しても厳しい。	12・13日防災の業者が町内会に打ち合わせに来るとの話なので、その場で防災に関する要望等をしてほしい。
7【防災】	●（町行政）	避難場所としてメモリアルパーク。避難するにも車での移動が大半となるので、駐車場が狭すぎる。	
7【防災】	●（町行政）	避難場所としてJRの小屋を利用できればいいが	

分類	対応	町民の発言	議員の説明
7【防災】	●（町行政）	漁村センターの解体の話からかなり年数が過ぎている。解体するには1億はかかると思われるので、あれだけの鉄筋コンクリートなので、改修して再利用できるか検討してほしい。	
7【防災】	●（町行政）	年寄りも多いので避難路も逃げやすいよう勾配を考えてもらえたらいい。	釧路で防災タワーのニュースがあった。傾斜もゆるやかなスロープだった。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.5 (水) 18:00 ~ 19:19
 対象地区 月崎1 (月崎1 町内会館)
 参加議員 佐藤議員、杉村議員、溝部議長 (事務局: 角谷、熊谷)
 参加者数 5人 (男2人、女3人)
 [対応凡例: ○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆ (説明済)	議員のなり手については、意欲がないそこまで興味がないというのが現実。それでもなってもらいたい、となると中々説明がしづらい。 お金だけの問題ではないと思う。報酬を上げるにしても限度はある。 議員や議会に対して難しさを仕事をしていると縛られてしまうという印象もあるのではないかと	行政と議会の違い (独任制と合議制)、行政の役割と議会の役割について説明。議会の役割は監視と評価にあるため、行政に比べると住民と直接関わる機会が少ない。議会の役割が中々理解されない要因もここにあるように思う。 これからは芽室町や浦幌町など議員のなり手対策の先進地を視察し、当町の対策に役立てていく予定。また、今月18日に開催する講演では栗山町議会副議長が議員の学校についてお話されるのでそれも参考にしたい。町民も参加できるので、関心があれば参加してみしてほしい。
1【議会】	☆ (説明済)	将来的には議員が増えることはあり得ないのだから、今後定数の削減も考えていかなくてはならない。	吉岡と福島が合併して70年。昭和30年は13,968人、昨年12月末で3,087人。人口は当時の4分の1にまで減少した。議員定数も溝部議長が立候補した当時は26人で、各地区の代表など様々な方がいたが、人口減少に合わせて、定数を減らしてきた。溝部議長になった時に、議員定数の考え方として人口400人あたり議員1人を目安とした。民意を反映するという観点では、色々な人がいた方が良いに決まっている。町民全員で会議を持つという方法もあるが、人口が3000人台という状況で実施するのは現実的ではない。 民意を十分に反映するには、定数10人が最低限必要ではないかと思っている。これ以上少ないと、常任委員会を重視した当町の議会活動を維持することが難しくなる。
1【議会】	☆ (説明済)	議員に限らず公的機関も人数が足りないということになっている。なり手を探すのであれば、青年部や女性部で活躍している人をピックアップして、普段から行政と繋がりのある人の方が良いのではないかと。	議場の雰囲気味わってもらうため、町内の各団体と議場で懇談をするなどしてきているが、結果は無投票だった。
1【議会】	☆ (説明済)	議員が団体と懇談する場を持つことは大切。	今後も各団体との懇談は続けていきたい。各事業所を対象にした懇談も考えている。
1【議会】	☆ (説明済)	栗山町の講演会は各団体に案内しているのか？	している。
1【議会】	☆ (説明済)	今後の議員の定数等については各町内会との懇談会などを持つのか？	ある程度議会としての考え方をまとめたものを来年の2月に素案を話せたらと思っている。
1【議会】	☆ (説明済)	議案の審議結果に欠と記載されているがこれはどういうことか？	北海道の表彰を受けるため札幌に行っていたため欠席していた。
1【議会】	☆ (説明済)	議員として表彰を受けるために欠席したのであれば、もう少し違う書き方をした方がよいのではないかと。ズル休みしたかのように誤解する。	欠席の表記は病欠の場合「△」とし、それ以外の理由で欠席した場合は「欠」としている。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	情報公開の関係で、町民が知りたい内容が入っていない。 熊なら何頭取ったとか、給食に町内米を使ったなら具体的に何割なのか、アワビなら取扱金額など、町民が興味を持ってくれるように具体的な数字を載せた方がいいのではないかな。	誌面にも都合があるので、全てを載せるのが難しいが、今言われたようなことも今後は改善していきたい。
1【議会】	☆（説明済）	週刊誌風なものもある。そういうのがあると感心や興味を持って見る。	確かに見出しなどを工夫する余地はある。
1【議会】	☆（説明済）	15ページの神原先生の話を読んで感心した。（下水道事業の話）	当時の話を説明。
2【町政】	☆（説明済）	このままの人口減少ペースでいくと福島は確実に消滅自治体だと言われている。子供を産める女性が少ないため。	町でも様々な対策を打っており、減少ペースをいくらかでも緩やかにすることはできているが、厳しい状況ではある。
2【町政】	☆（説明済）	人口が減る＝役場や議員の仕事が減るというのは間違いで、人口が減ることで仕事は増えているのではないかな。以前よりも忙しくなっているのではないですか？ 国があれをやれこれをやれといってくるから仕事は増えている。	確かに以前に比べて忙しくなっていると感じる。
3【教育】	☆（説明済）	青少年交流センターの増築事業について、費用対効果はどうなのか。 外から来た子供達が今後地元に対してどのように返してくれるのか？	次年度の入学予定者数を説明。
3【教育】	☆（説明済）	宿舎を建てるにも相当な金額がかかり、給食費など様々な援助しているが卒業したら終わりだと、このまま継続していくというのはどうなのかとも思う。	高校を存続させることを重視して動いてきた。経済効果だけを考えても高校がなくなってしまうことによるマイナスの影響が大きい。人口減少社会の中で他の町でも生徒の確保に苦労している。
3【教育】	☆（説明済）	このまま多くの生徒が集まる保証はない。	油断せずに生徒募集をしていく。札幌や東京での説明会やオープンキャンパスなどで実際に町外から入学した生徒の話を聞けるのが好印象を与えていると聞く。
3【教育】	☆（説明済）	なんでも無料だから魅力があるのだろうが、経済破綻などしないように。	何年か前に生徒が開発したラーメンの販売会をやったらお客さんがよく集まったという話も聞いた。
5【住宅定住】	☆（説明済）	定住促進住宅について、移住促進は考えていないのか？移住のPRなどはしているのか？	子育て世帯であれば、移住者も対象になると思うが、まだ1棟しかないので移住よりは定住向け。
5【住宅定住】	☆（説明済）	今後の移住の対策は？ 近年新しく住宅をいくつか建てているが、入居している人は元々福島に住んでいた人ばかりで人口はプラスになっていない。	今は町外に出ていく家族を食い止めるため、定住を重視している。移住の場合には公営住宅も含めて対応するなど臨機応変なことが考えられる。これまでも公営住宅を活用しているが、入居条件など様々な制約はある。
5【住宅定住】	☆（説明済）	移住となると生活基盤がないので、年金暮らしの人が想定されるのではないかな。	そういった移住の人は公営住宅に入ってもらえることになるのでは。
5【住宅定住】	☆（説明済）	空き家が多いが、修繕して提供するなどということは考えていないのか。	空き家は周辺に迷惑をかけないように解体する方向で進んでいる。 町に対する寄付も、建物は壊して土地として受け取っている。
5【住宅定住】	☆（説明済）	新しい建物であれば有効活用することは考えられないかな？	空き家バンクに登録するなどしているが、中々申し込みがない。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
6【福祉】	☆（説明済）	調査事件11の町立診療所の運営について、利用者数が増えない要因は調査したのか？	深浦病院が閉院してから今の診療所が開院するまでに期間が空いてしまったこともあると思う。
6【福祉】	☆（説明済）	今は函館の病院からバスがきてくれたりしている。	函館も競争が激しい
6【福祉】	☆（説明済）	ここだけの話、町立診療所はあまり評判が良くない。自分もかかったがそう思う。	議会も言いつばなしではなく、その後どうなったか確認していくことが大切だと思う。提言している内容が実現しているのかなど。診療所や社会福祉協議会など、いくつかの事件は数年継続調査しているものもある。
6【福祉】	☆（説明済）	診療所について、先生を含めて皆さんよくやっていると思う。自分もかかっているが、丁寧に教えてくれる。悪いとかそういうことは思わない。	しかし、受診する人が増えない。
6【福祉】	☆（説明済）	なんだかんだと言っても、頼るのは先生（医者）でしょう？コロナやインフルのワクチンもそう。	そういうものも含めても採算が取れるラインに来ていない。
6【福祉】	☆（説明済）	医者がいなくていなくて探すことに相当苦労したはずですよ。来てくれるだけありがたいのでは？	それはそうだが、経費がかかっているのだ。
6【福祉】	☆（説明済）	月崎の見守り隊について、去年の懇談会で平沼議員がとても良いことだ、参考にしたいと資料を持っていった。 最近、他の町内会で亡くなっていた状態で見つかった方がいたという話を聞いて心が痛んだ。 見守り隊の活動をしていると、近くに住んでいるお年寄りを見かけないので声をかけに行き安否確認などができる。こういう仕組みを作って声を掛け合っていたら誰にも見つからずに亡くなっていたという悲しいことは起こらないと思うので、他の町内会でも同じようなものができたらいいと思う。	町でも防災の関係で、一人暮らしなど対応する名簿を作って町内会の方に配布するなど対応していると思う。ただ、個々に対する見守りについては離れたところに住んでいる人を見守るとするのも難しいので、近所に住んでいる人たちが見守るとするのが大切だと思う。 しかし、町営住宅など、昨今の個人情報の問題もあるのか誰がどこに住んでいるのかわからないという課題もある。
6【福祉】	☆（説明済）	民生委員は自分の担当地区の詳しい情報を知っているが、限られた人だけが把握している状態なので、さっき話に出たような見守り活動が大切だと思う。	表札のところに人のいるいないなど表示するなど、住んでいる人たちのことがわかる何かしらの方法があれば良いのだが…。
6【福祉】	☆（説明済）	犯罪の元になってしまうので、在宅している、していないは表示できない。住んでいる人の男女も表示できない。 町内会でも全ての情報を確保しているわけではない。民生委員は別で様々な情報を持っているが、みだりに公開するわけにはいかない。個人情報なので取扱が難しい。	今でも一人暮らしの人に対する電話やカメラによる見守りのようなものを行っているところがあると聞く。
6【福祉】	☆（説明済）	その機械での見守りというのはどこでやっているのか？	希望者に対して消防が対応している。一番は近所で見守りするのが理想だが、住宅での対応は難しいと思う。
6【福祉】	☆（説明済）	見守り隊の活動も、あくまで義務ではなく任意であることを強調し、無理をしないように言っている。	任意で無理をしないことは大切。
8【環境・インフラ】	☆（説明済）	近隣町の公共下水は？	知内が早くにやっていた。
9【町内会】	☆（説明済）	なり手がいない問題は議員だけではなく、町内会にも同じことが言える。	

分類	対応	町民の発言	議員の説明
9【町内会】	☆（説明済）	人口減はあらゆる面でマイナス。町内会も運営自体が大変。老人クラブや色々な団体が影響を受けている。中心となつて活動する人が減っている。	次回の選挙では今よりもさらに人口が減るので、より厳しい状況になる。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.6 (木) 18:00 ~ 19:32
 対象地区 月崎2 (月崎2町内会館)
 参加議員 平沼議員、木村議員、熊野議員 (事務局: 鍋谷)
 参加者数 7人 (男4人、女3人)
 [対応凡例: ○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆ (説明済)	今、議員一人当たり町民何人になるのか？	340人程度になります。
1【議会】	☆ (説明済)	議員、何人が良いと思うかと聞くが、議員として最低何人いれば良いと考えているのか。	我々から何人と言うのは難しいが、現状のやり方で進めるなら10人は必要と思っています。
1【議会】	☆ (説明済)	議会を廃止し、町民総会にすればよいと個人的には思っている。 又は、町内会から1人ずつ代表を出して集まれば良い。	それは現実的ではない。
1【議会】	☆ (説明済)	議員報酬を上げるべき。報酬が低いと今の職を辞してまで議員になろうとは思えない。 (反対意見) そうではない、金のために議員になるわけではないと思う。	生活していける報酬も必要だが、議員には町を良くしたいといった想いも必要。
1【議会】	☆ (説明済)	選挙に落ちると恥ずかしいという気持ちがあると思う。選挙に出るには勇気がある。町民から選ばれなきゃならないというのはハードルが高い。	モニター制を検討している。議員のことを知っていただき候補に繋ぎたい。 町から出てくる案件が増えており、このままだと継続できないという危機感をもっている。
3【教育】	☆ (説明済)	中高生議会、良い取り組みなので継続して行ってほしい。	議会としてもそう考えています。 今回は学校の授業の一環ということもあり時間的制約もあったので、開催方法も検討していきたい。
3【教育】	☆ (説明済)	高校、交流センターに今何人入っているのか？	26人入っている。
3【教育】	☆ (説明済)	人が増えたら更に増築するのか？	これ以上の増築はない。 これからは入居定員を年17人と限定して受入れることにしている。
3【教育】	☆ (説明済)	全国募集、他の高校も始めている。生徒の取り合いとなった場合、福島に来る生徒が減ることも考えられるが、今後生徒居なくなったら交流センターはどうするのか？	交流センターは高校生の寮でもあるが、基本的には移住定住に向けた施設として整備している。
3【教育】	☆ (説明済)	全国募集で入学した生徒で辞めた生徒はいるのか？	1名いたようなことは聞いているが…。
3【教育】	☆ (説明済)	町外から来る生徒へ支援するより、もっと町内の子どもへ支援するべきではないか。町内の子供が函館や町外の学校を選んだ場合にも支援してはどうか、その方が町のためになると思うが。	そういった考えは理解できるが、高校存続の観点や、将来福島町に移住してもらえるようなキッカケ作りのためにも必要な支援と考えています。
3【教育】	☆ (説明済)	高校無くなると一気に寂れるよね。商業高校として残して、地元の子供も入ってくれば良いと思う。	
3【教育】	☆ (説明済)	高校関係、金を掛けすぎている。高校、交流センターの情報をもっと町民へ知らせるべき。	町広報で周知するよう提案します。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
8【環境・インフラ】	☆（説明済）	ゴミの関係、福島町が四町で一番高い。町では電動ゴミ処理機への補助を行っているところがあるが、この処理機、議員は買っているのか？ 町民に対してPRするにしても使ったことがない人が勧めても説得力がない。担当職員も誰もやったことがないと聞いている。	問題は町内に売っている所がないこと。その点は委員会で意見として出している。 ゴミ減量化に向けたキャンペーンを行うことも必要ではないかと考えている。
8【環境・インフラ】	☆（説明済）	以前、テレビニュースで町内会で機械を買って水切りをやっているのを見た。	
8【環境・インフラ】	☆（説明済）	この前、民生委員の会議で町の担当者がPRしていた。	
9【町内会】	●（町行政）	町内会要望として会館前の舗装をお願いしている。町長は実施すると言っていたが、一部個人の土地があるとのことから着手されていないが…。	町に確認します。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.6（木） 17:58 ～ 18:33
 対象地区 丸山団地（丸山コミュニティセンター）
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、平野副議長（事務局：山下）
 参加者数 2人（男2人、女0人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○（議会）	定数10でなければ、議会運営はどうなるのか	当町は、委員会が多い。多いと約20回は開催する。人数が少なくなると委員会を回すのが手一杯となる。
1【議会】	○（議会）	他の町では定数8と、木古内町が先日の新聞でも8人としたとあったが。	8人だと委員会数を減らさざるを得ない。
1【議会】	○（議会）	現在は9人で行っているが、10人の定員でないとダメだという理由を周知し強調した方がいい。	現在9人。9人でもやっていってる現状からすると、町民の理解を得るのは難しいとは思ってますが。
1【議会】	○（議会）	報酬を上げるべき。通年議会だし、委員会数も多い。委員会があることで、定例会がスムーズに運営されていく。委員会が必要である。	報酬を上げるには、町長の給与の率で議員の報酬が上がる仕組みとなっているので、まず町長の給与を上げねばなりませんね。
1【議会】	○（議会）	現在9人で定数を9人にするとしたら、最低9人は維持してもらいたい。本当は10人がいいのだけど。	
9【町内会】	●（町行政）	令和9年度に丸山町内会館を解体する話があり、福祉センターにという話だが、高齢化が進んでるので、大変だ。	財政的に令和9年度がピークになると思われ、解体も含め防災での対応となると思われる。
6【福祉】	●（町行政）	高齢化率が50%以上となり年金者が増え、年金生活者に福祉灯油を1万円支給しているが、今年は物価対策で3万円配布しているが、低所得者にとっては灯油は必要不可欠であるので、福祉灯油額を1万円から増額してほしい。	当局へ話をしておきます。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.6(木) 18:00 ~ 19:10
 対象地区 塩釜、浦和、岩部(塩釜町内会館)
 参加議員 佐藤議員、杉村議員、溝部議長(事務局:角谷、熊谷)
 参加者数 2人(男2人、女0人)
 [対応凡例:○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆(説明済)	議会で四散米舞等のことを言うのもどうなのかなと思うが。	町から補助金が出ているし、後継者不足などの課題もある。
1【議会】	☆(説明済)	今回の懇談会に参加するか迷ったが、参加して見れば色々な話ができるのだなと思った。議会のことで話をするとと言われても難しくわからない。	ざっくばらんにさまざまな話をするのが懇談会なので、難しく考える必要はない。
1【議会】	☆(説明済)	文句など出ることもあるのか?	ある。議員の活動についてよく理解されていない事も原因かもしれない。
10【その他】	☆(説明済)	藤山議員から伝統芸能の維持管理について一般質問があり、回答で小中学校で教えているとある。しかし、ちゃんとした人が教えなければ、間違ったやり方が伝わってしまう恐れがある。ただ教えればいいというものではないのでは。今の演者を見ても少し違うのではないか?と思うことが多い。正しいやり方で厳密にやるのはとても難しく、少しやった程度で他人に教えられるようなものでもない。指導者によってやり方にバラつきがあり、正しいやり方に統一した方が良いと事務局に意見したが、正しいやり方はわからないといわれた。今の演者を見ているとがっかりする。	教育委員会などで残っている映像などを見てやっていると思う。 塩釜は元々四散米舞の役目を担ってきた方々なので、昔からのやり方を知っている分違和感を感じることもあるのかも。正しいやり方を知る人が指導する機会を設けることは良いことだと思うので、今のやり方が違う、がっかりすると思うのであれば、是非とも指導をしてほしい。
10【その他】	☆(説明済)	白符荒馬などは教えられる人はいるのか?昔は小学校などで教えていたように思うが。	今はそういうことはないが、昔経験した人は今でも町内に何人かいるのでは。
10【その他】	☆(説明済)	議会でも、町でも、いいことでも悪いことでももっと広報に載せてほしい。今回の議会だよりに掲載していた生徒の様子を見て、今回の懇談会で高校生の活動について話を聞いて、町外から入学した高校生に対するイメージが良くなった。	普段の構成を変えて、カラー印刷になるように工夫した。
2【町政】	☆(説明済)	町に対する要望はそれほど数はなく、対応もしてくれている。	すぐに対応してくれるという話を聞いている。
3【教育】	☆(説明済)	高校の寮をまた建てているが、来年度の入学予定者数は?	20人の予定。
3【教育】	☆(説明済)	来年度の入学予定者の内、福島中学校から進学するのは何人いるのか?	4人。
3【教育】	☆(説明済)	そもそも今年は中学校から何人卒業するのか?	今回は17名。そのうち4名が福島商業に進学。進学先を決める時の要素として、最近では部活の関係もある。
3【教育】	☆(説明済)	部活の関係があると言っても、商業高校であれば仕事の即戦力になれるという強みがあるのでは。	そういう点を魅力に感じて町外から来ている生徒もいる。
3【教育】	☆(説明済)	来てくれと言ってもメリットがなければ来ない。	寮を見せたり、説明会やオープンキャンパスで実際に町外から来た生徒が自分の言葉で話して魅力を伝えている。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
3【教育】	☆（説明済）	町外から高校に入学した生徒の父兄が福島に来ることはあるのか？	来ることはある。
3【教育】	☆（説明済）	今後の高校はどうなっていくのか	福島のように他でも募集を始めているが、あまり上手くいっていない。 油断はできないが、今後も頑張って生徒を集めていく。
3【教育】	☆（説明済）	福島に来るのはほんの数%しかいないだろう。何で福島に来るのか。	中学時代に色々あった子供達が来ているケースが多い。 そういう子供達が、自らの言葉でPRできるほどに立ち直っている。
3【教育】	☆（説明済）	議会に来た生徒達の印象は？	とても良い印象を受けた。
3【教育】	☆（説明済）	お祭りに参加してくれることを地域の人も喜んでいる。	そういう声をあちこちで聞いた。 お祭りや吉岡小学校の運動会、昆布干しのアルバイトなど地域に入った活動は町の皆さんから好意的に受け止めてもらっている。
3【教育】	☆（説明済）	昆布の体験をしていたのを見たが、田植えなどもさせてみては。	色々な部分をやっているのだと思うが、子供達はアルバイトをしたいと言っている。昆布などはあるが期間が限られているので。
4【産業観光】	☆（説明済）	今後、岩部は観光や水道のことでしか行くことがなくなる。住む人がいなくなるとガラッと変わるのでは。	岩部の活性化策として観光的な整備していこうという計画があり、定住対策に繋がるものも含んで計画中。まずは展望公園の整備から動いている。 観光スポットとして整備することで、そこに繋がる道路として道道の維持にもつながられる。そうでもしないと道路の維持は難しい。
4【産業観光】	☆（説明済）	岩部クルーズで、予約したが時化で乗れなかった人は次回優先して対応してくれるのか？	予約制のものなので、そういうことはないのでは。
4【産業観光】	☆（説明済）	岩部クルーズは函館に住む親戚が毎年の様に来て、3回ほど乗っている。	一度行くと感激すると聞く。リピート客もいると聞いている。
4【産業観光】	☆（説明済）	年々参加者は増えているのか？	全国規模でテレビに出るなどして、道外からも多くのお客さんが来ている。
4【産業観光】	☆（説明済）	岩部クルーズの船はこれ以上大きくならないのか。	洞窟に入る関係で大型化するのは難しい。
4【産業観光】	☆（説明済）	岩部の海岸線は時化になった時に避難する場所がいくつかあるので、青の洞窟まで行くのは難しくても無理しない範囲で対応できる部分もあるのでは。タタミなど陸路で行ける場所もあったが、今はなかなか難しい。	陸路での観光ルートについて調査はしているようだが、崖崩れがあったり道が険しすぎて難しいようだ。
4【産業観光】	☆（説明済）	熊はばったりあわなければ襲ってきたりしないのか？熊が人を襲う怖いものだと思うようになったのは最近の話。昔はそんなに思わなかった。	その時の状況や個体の性格にもよるので何とも言えないが、個体数が増えたことで人との間で事故になるケースは増えている。
4【産業観光】	☆（説明済）	相変わらず鹿が多い。捕獲目標は達成しているのか？	千軒の処理施設で鹿は282、熊5頭を処理している。熊5頭の内1頭は福島から持ち込んだもの。
4【産業観光】	☆（説明済）	昔は山に畑などがあったから山で遭遇して帰ってくるというケースもあった。山奥にたくさんいるのでは。	町まで下りてくるという事はこれまであまりなかった。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
4【産業観光】	☆（説明済）	熊の数が増えてきているから、山にいるよりも町に降りてきた方が安全なのかもしれない。	今年は雪が少なく、冬眠しない熊がいると聞く。
4【産業観光】	☆（説明済）	福島で熊を1頭しか獲っていないのであれば、獲る数を増やすために春熊駆除をするしかないのでは。	昔の猟師であれば燻して巣穴から追い出して撃つなどしていた。
4【産業観光】	☆（説明済）	春熊駆除がダメになったのは外国に言われたからなのか？	外国に言われたのではなく、数が減りすぎたことによる保護。しかし、逆に増えすぎているのが現状。そのため最近規制を緩め始めた。
4【産業観光】	☆（説明済）	塩釜も昆布の時期に昆布の乾燥室付近のテントで熊の痕跡があって騒ぎになったことがある。	吉岡の方でも加工場に入り込んでいるなど、生活圏内でも出没するようになってきている。
8【環境・インフラ】	☆（説明済）	治山工事に関する事は国や道がやっているから、町に言っても仕方がないのは理解している。それ以外のことで生活に直接関わるような要望はあまりない。	国や道がかかわる案件はなかなかすぐに解決とはいかない。
8【環境・インフラ】	☆（説明済）	海岸の工事について、結構時間がかかっている。昆布漁師を優先する関係で4月から8月半ばくらいまで海に面する部分の作業はできないなど制約があるから仕方がないのは理解している。後2年くらいはかかると思っている。	道の工事ということもあり、様々な制約がある。
8【環境・インフラ】	☆（説明済）	道でやっている工事だから、他の地域で緊急度の高い工事があるところの優先度が下がることもある。 正直なところ、塩釜の道路が広がったからといって何かいいことがあるかと疑問に思うこともある。岩部への観光バスなどが通る時や、カーブなどの部分的に少し危ない場所が改善されるのは良いと思うが、それ位。	道道は生活道路が中心。今回の火事で岩部に住む人がいなくなってしまったので、生活道路ではなく観光道路の扱いにして進めていかなくては維持が難しくなる恐れがある。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.7（金） 17:57 ～ 18:36
 対象地区 緑町（福祉センター）
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、平野副議長、木村議員、熊野議員（事務局：山下）
 参加者数 1人（男1人、女0人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	現在9名で、1名不足の状況で、残り1名という話と、次の選挙になると80歳を超える年齢も多くなかなか続けるのが厳しい。そうなると定員割れする恐れもあるため今の人数を確保するにも後継者が必要となる。定数減らして歳費を上げる、そうしないと若い人も入ってこないのではないかな。	その考えも一つの考えと思っている。しかし、歳費を上げるにしても近隣四町と見比べても高い方であるのでなかなか難しい。
1【議会】	☆（説明済）	最低どれくらいの人数がいればいいのか。	人数が減ると偏った意見になると思われる。これからみんなの意見を話し合いながら決めていきたい。
1【議会】	☆（説明済）	人口減少に合わせて議員定数を減らすという考えは。	年々行政の仕事が増え、予算が増える。そうすると審議が増える。人口が減ったからといって議員も減らすとはならない。議員を減らした場合、議員の活動量も増える。難しい問題です。
1【議会】	☆（説明済）	国の経済対策については、福島町は早い。ほかの町に聞くとまだ出ていない。1か月から2か月くらい後でないとでない状況だ。	福島は、通年議会としているため、国のある程度の経済対策が決まるとすぐ議会を開催して先行して行っている。
1【議会】	☆（説明済）	基幹産業は、漁業なのだから後継者がいる漁業者がいる漁業者に出てもらうのがいい。	なかなか難しい。議会に興味をもってもらい、仕組みを変えて行けば、松前、木古内でやっているモニター制を採用する方法等もある。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.7（金） 17:55 ～ 19:24
 対象地区 新栄町（新栄町集会所）
 参加議員 佐藤議員、杉村議員、平沼議員、溝部議長（事務局：鍋谷）
 参加者数 4人（男3人、女1人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	近隣町の議会、女性議員は何人いるのか？	知内町に3人、それ以外はいません。
1【議会】	☆（説明済）	やはり女性の声、多様な言われている中で1人でもいれば。そういう雰囲気を作れば良いと常々思っている。	議会で女性部とも懇談会を行ったが立候補する人はいなかった。
1【議会】	☆（説明済）	福島町の議会に年齢の上限はあるのか？	ありません。
1【議会】	☆（説明済）	そうであれば70であっても75であっても立候補してもらっては。	
1【議会】	☆（説明済）	過去に女性が立候補したことは？その内、福島出身は何人？	これまで3人が立候補している。福島出身は2人。
1【議会】	☆（説明済）	色々考えたが難しい問題。70歳の人でも進めてみては？	
1【議会】	☆（説明済）	同性の協力が無いと女性1人では無理。議会だよりを見てると福島町は勉強しないと無理と感じる人が多い。なかなか簡単ではない。	知内町の女性議員は共産党といった組織のバックアップがある。
1【議会】	☆（説明済）	何時までもこんな事をやっていては議会要らないという話に進んで行ってしまう。	それは現実的には無理な話になる。
1【議会】	☆（説明済）	昔、町内会長に議員になってもらってはという話もあった。	街づくり協力隊が議員になるケースも増えているが、福島町はうまくいっていない。
1【議会】	☆（説明済）	議員、男女半々ぐらいが良いのではないか。	理想はそうです。
1【議会】	☆（説明済）	福島の女性は女性が強いと思っていた。女性でUターンする人とかは居ないのか？	それは家の中だけ。Uターンする人はいるが、子育てしている人も多い。
1【議会】	☆（説明済）	年金貰っている人、男性でも腹の中ではやりたいと思っている人はいるのでは？	色々やったがいけない。落ちたら恥ずかしいとか自分の仕事が忙しいなど。
1【議会】	☆（説明済）	オンラインは有りと思う。民間でも行っているから。	タブレットが普及していることから、家から参加も可能ではないかと思っている。
1【議会】	☆（説明済）	議員定数割れ、定数を無くしたら無投票もなくなる。そもそも定数を無くす。やりたい人にやらせる。そういう風な法律の改正を促しては。	それは極端。無理です。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	立候補しない要因はなにか。 行政に関心がない。生活できない等一番の要因がつかみきれない。	コミュニティの希薄化、自己中心的な考え方をする人が増えたのが要因かもしれない。 昔は行政はなにもしてくれない。今は何でもしてくれる。行政に対して不満が何もないのではないかな。
1【議会】	☆（説明済）	議員が定数とかに苦勞しているはどうかと思う。それは議員の仕事ではない。定数割れようが気にしないで。 この問題は町民が考える問題。議員が考える問題ではない。	そういう考えもあるかもしれないが、議会としても考えていく必要はあると思っている。 先般行った中高生議会なども大事だと思っている。
1【議会】	☆（説明済）	立候補、本人の意思が重要。お金ではない思いがある人でないとダメ。 郷土愛を育てる。それがないと誰も議員にならないと思う。	それが悩み。
1【議会】	☆（説明済）	町内会連合会と会合もったことはあるのか？ 連合会役員と議員が直接話し合ってみてはどうか。	昔、やったことはあります。 そういった話し合いも行っていきたいと思います。
1【議会】	☆（説明済）	議員定数、2委員会を維持するなら12人位は必要。人口が減っても。報酬は30万ぐらい。一般的に生活が出来る位は必要だと思っている。	今は委員外を取っているが、委員会を一つにすることも検討している。 2月18日に栗山町から講師を読んで研修会を開催するので、時間があったら見に来てほしい。
1【議会】	☆（説明済）	委員会を一つにすると委員会の必要性が問われることになる。	福島町は本会議主義。所管調査が大事だと思っている。
1【議会】	☆（説明済）	福島町は先が見えてこない。基幹産業に支援金を出すということは基幹産業ではなくなっている。黒字になる事業がない。どうするのか見えてこない。	
4【産業観光】	☆（説明済）	ない。昔は夏は船で、冬になると獣道を通して物資を運んでいた。	←岩部、タタミまでの山道はあったのか？岩部の活性化の議論の中で出たので…。
4【産業観光】	☆（説明済）	だいたい道は千軒に続いていた。 ↑それはそう。千軒で砂金が出ていたから。	

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.10（月） 18：00 ～ 19：35
 対象地区 三岳 1（三岳 1 町内会館）
 参加議員 平沼議員、木村議員、熊野議員（事務局：鍋谷）
 参加者数 4 人（男 3 人、女 1 人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	子育てをしている人の意見を聴く必要があると思うので、木村議員のような子育て中の議員がいるのは良いと思う。	自分でも考えるが、昔の人口が居る時とは全然違う、これから先のことは不安になる。
1【議会】	☆（説明済）	30代、40代の女性なら町内会に何人かいると思うが…。	是非、紹介してほしい、膝詰めで说得に行きます。
1【議会】	☆（説明済）	町内の経営者、若い人から聞いた話だが、会社の理解度を上げてもらわないと難しい。	他の会場でも同じような意見が出ているが、人手不足のなか事業主としても難しい所。国の法律などでそういった部分を決めてもらえれば良いが。
1【議会】	☆（説明済）	自分も仕事しているので思うが、人手不足でなかなか理解してもらうのは厳しい。都市部は比較的容易だと思うが、田舎は厳しい。	若い人を入れるためにも議会改革をしていかなければと思っている。
1【議会】	☆（説明済）	定員の 1 割 2 割を女性にするという考え方はどうか。	色々な面で女性の目が必要と感じている。クォーター制などもありだとは思いますが、制度的になかなか難しい。
3【教育】	☆（説明済）	特にないが、下校時刻になると笑い声等が聞こえてくるのは良いことだと感じている。	高校生が交流センターに入っているが、地域で変化したことはありますか？
3【教育】	●（町行政）	町民プールの利用時間、開館時間が午後からと短く、学校等の利用と被るため、利用しづらい。時間帯の被らない午前に開館してもらえると助かるのだが、利用者数などの問題もあると思うが、少し何とかならないかと思っている。	何か工夫できれば良いと思うが、機会を見て教育委員会には言います。
6【福祉】	☆（説明済）	身近な問題として、バスの料金が高くなったことで、介護認定を受けていない人、福祉制度の狭間の人が一番困っていると聞いている。車が無い、バス代は高い、病院のバスも減った等、通院している人は大変。	かくれ要支援の人が多く感じています。なんらかの対応策は検討していかなければならないと考えています。
7【防災】	☆（説明済）	2023年に福島町が震源の地震があったと思うが、その時はニュース等が流れなかったと記憶している。なぜなのか。自然が壊れてきている。国を動かす所まで行ければ良いと思うが。	確かに福島沖に震源になるような断層があるような事は聞いたことはあります。しかし、専門家もはっきりしたことは分からないのが現状のようです。機会があれば確認したいと思います。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.10（月） 17：59 ～ 18：16
 対象地区 三岳 2（三岳 2 町内会館）
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、平野副議長（事務局：山下）
 参加者数 1人（男1人、女0人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
10【その他】	☆（説明済）	埼玉県の下水道あれ大丈夫なのかね	救出は難航してるみたいです。昔、藪内町長の頃に下水道問題があったんだよね。当時下水道をやるのに300億はかかると言われ、やらないといけないとやっきになっていたが、議会として今後人口が減ってくるのにと当時は悪者扱いされてね。視察やら情報収集をし、反対した。議会だよりの寄稿文に福島町議会を知った理由。下水道問題と書いてありますよね。人口等も減ってくるのはわかってるので合併浄化槽にした。今思えば正解であったと思ってる。その予算は木古内に流れていって木古内で下水道をやったが、今苦労してるんでね。知内も。
			※参加者の体調が優れないようなので、無理をせず大事をとって終了としました。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R7.2.10（月） 17:57 ~ 19:10
 対象地区 千軒（千軒町内会館）
 参加議員 佐藤議員、杉村議員、溝部議長（事務局：角谷、熊谷）
 参加者数 9人（男4人、女5人）
 〔対応凡例：○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆（説明済）	議会だよりの3年後の立候補者という記事について、議員の月額給与について掲載されているが、3年後も変わらないのか？	これは現時点のものであり、これから皆さんからもご意見をいただきながら特別委員会で協議していきたい。今の議員報酬の計算方法を説明（活動日数に基づき、町長の30%として算出している）
1【議会】	☆（説明済）	3年後の選挙について、定数を減らすとかそういうことはないのか？すでに定数割れしているし、人口も減っている。	定数も今後の検討事項となっている。これまでは議員1人に対して400人を目安としていたが、現在はそれを割っている。住民の多様な意見の反映や現在の議会のやり方を維持するには最低限10人は必要ではないかと考えている。
1【議会】	☆（説明済）	議員って今は何人でしたか。	今は定数10人に対して実際は9人。
1【議会】	☆（説明済）	議員定数の話などは十数年前にも同じ話を聞いた。当時は定数が12人で、今後の人口減少を考えていくと定数を減らすべきではないかと同じ考えを持つ仲間と運動をしたことがあるが、先ほどと同じ話をされ、議会としては減らすつもりはないということだった。 女性議員がいない、という話は5、6年前から有望な方を探して声をかけているようなこともあったが、落選すると恥ずかしいということだった。しかし、そういう不安や懸念を上手く説得して導いてやれば良いのではないかなと思うが。	過去に女性議員として2名が活動していた。また、落選したものの立候補した方もいた。女性議員の擁立について定数の内一定数を女性枠や若者枠とするクォーター制という方法もあるが、現在の日本では法律上難しい。 若い世代にも声をかけているが、落選への不安や仕事との両立が難しいという回答が返ってくる状況。
1【議会】	☆（説明済）	町民より議員の方で候補者を探した方がいいと思う。	産業団体、文化団体、スポーツ団体、福祉関係の方々と議場で懇談し、実情を説明して候補者擁立をお願いしたが、結果に結びついていない。
1【議会】	☆（説明済）	議員さんたちに候補者を探せと言っても、いざ選挙になったら競争になってしまうし、無理があるのではないかなと思う。	自分の後継者を探して声をかけているが中々立候補に踏み切れないという返事が返ってくる。
1【議会】	☆（説明済）	自分は辞めるから後継になってくれというならまだわかるが、そうでないならなかなか難しいのではないかな	そういう面はあると思う。
1【議会】	☆（説明済）	福島町は平和で満たされているから、わざわざ立候補しないのではないかな。 今回の鹿部でたくさん立候補者が出たのは「ちょっと待てよ」と何かしら思いがあって立候補したと聞いた。	鳴海町長になってから、町内会要望に対する対応が早いことや、子供や子育てに関する支援は国に先駆けて行うなど全般的に対応が早いという面はある。
1【議会】	☆（説明済）	町政懇談会の時に様々な要望をしたのだが、その内容を議会の中でこういう内容があったと話をする機会などはあるのか？	議会での懇談会の資料として町政懇談会の報告書をもっており、内容を確認している。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
10【その他】	●（町行政）	担当課には話をしているが、除雪について困っている。堆雪場の許可については、除雪する人ではなく、役場が交渉するのが筋ではないか。長年利用させてもらっていた堆雪場の地主さんが急に気変わりしてそこが使えなくなり、急遽別の場所に移動を迫られ夜中に対応したこともある。また、ためる場所がなくなってくると、許可をとっていない場所にためざるを得ない。 また、自分の都合だけで苦情を言うてくる人がいるが、こういった苦情も自分たちが対応しなくてはならないのか？と疑問。 こういった状況から、今回除雪は辞退すると役場に伝えたが、千軒まで来てくれる業者が中々いないということで、渋々引き受けている。	町の状況としては一時的に堆積させている場所、その後に持っていく場所を持っている。 まず、堆雪場の交渉は町で対応するべきで、業者側がしているのはおかしいのではないかと思う。多くの苦情対応をしている点も含めてきちんと役場に伝え、善後策を講じなくてはならない。
10【その他】	●（町行政）	千軒に限らずどこも同じで、高齢化しているから除雪が大変で、できる人に頼むというのはわかるのだが、不満や苦情を全てぶつけられると困ってしまう。あまりにも一方的に言われており、流石に我慢するにも限界はある。他の地区でも除雪業者に様々な嫌がらせをした人がいるという話も聞いたことがある。 担当課の職員が行って話をしてもらい、理解してもらおうなどしないといけないのではないかと思う。	除雪業者に対して嫌がらせや過剰な苦情をするといった話は年に何度か聞く。自分の思い通りにならないと好き勝手してしまう人はいるようだ。
10【その他】	☆（説明済）	文句を言うような人ほど今回の懇談会や町内会の会合といったような場所には出てきてくれない。	困っているのならこういう場に来て話してくれば良いのだが…。
10【その他】	●（町行政）	パークゴルフ場について、できればお願いしたいことがある。いくら会社に要望しても効果がない。 気候変動による影響と、水やり方法のミスで芝が焼けてしまったことがあった。対処方法として、夜中に水を撒くことが効果的だということになり、タイマー機能のついたスプリンクラーを買って使用していたが、水道代がかかりすぎてダメですと言われた。回復してきた頃に制限されたため、回復がうまくいかなかった。 水道使用量について、ここまでは使っているよというラインはあるが、それでは全然足りない。芝を維持するために必要な水を撒くには水の使用制限を見直してもらいたい。芝が全部ダメになって入替になる方がお金がかかる。	パークゴルフのことで予算や決算の時に芝の管理について質問や意見をする、芝の交換などして適切に対応するという話はあったが、水やり云々の話は今までなかったように思う。水道代がかかるのでやるなど言われたのか？
10【その他】	●（町行政）	最初は何も言われなかったが、途中から水道代がかかるから基準を超えてやるなど言われた。	そう言う話は聞いており、今年議員でパークゴルフ場を利用する機会があって現地を見たがひどい状況。きちんと対応をしなくてはならない。 まず、状況がどうなっているのか確認して対応する。
10【その他】	☆（説明済）	水道水がダメだというのなら地下水を汲み上げてそれを利用するという方法があるのではないか。	水道会計も町の会計ではあるので、うまくやってくれば良いのだが、教育委員会側で予算の制約があるのではないかな。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
10【その他】	☆（説明済）	この先もパークゴルフ場は存続するの か？利用者は減ってきているようだが。	全体的な利用者は減少傾向にあるが、 今のところ閉鎖するなどの話はない。
3【教育】	☆（説明済）	来年度の高校入学生は何人ですか？そ のうち町内から進学する生徒は？	入学予定者は20人で、その内町内進学 者は4人。
3【教育】	☆（説明済）	16人は町外。また経費がかかります ね。	寮に入る生徒は住民票も移動してい る。
3【教育】	☆（説明済）	そうなのですか？それなら問題ないで す。	オープンキャンパスや説明会で生徒募 集をしている。